

令和7年度 藤井寺市生涯学習審議会 会議録

令和8年2月25日(水)

藤井寺市立生涯学習センター 3階 視聴覚室

会議の名称	令和7年度 藤井寺市生涯学習審議会
開催日時	令和8年2月25日(水) 午後2時00分から午後2時50分
開催場所	藤井寺市立生涯学習センター 3階 視聴覚室
出席者	委員:西村光世、後藤剛志、上田裕彦、仲井茂樹、清水柁人、 竹綱栄徳、天野玲子、堀内和江、細木紀美子、西本真治、 高橋光輝 事務局:教育長 見浪陽一、教育部長 大山哲也、 公民館長 松宮圭伺 生涯学習課長 辻野智一、同主幹 田中彰一 市立図書館長 國頭順子、同主幹 松中義成、 同主査 石山成浩
欠席者	委員:東野亜弥子
会議の議題	報告案件 案件1 令和7年度生涯学習センター及び公民館の事業報告 案件2 令和7年度市立図書館事業報告 案件3 令和8年度生涯学習センターの運用について(報告) 案件4 第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画について(諮問)
会議の成立	委員12名中、過半数(11名)の出席があり、藤井寺市生涯学習審議会 規則第3条第2項の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成	要点記録
記録内容の確	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開	公開

○司会

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただ今より令和7年度藤井寺市生涯学習審議会を開催させていただきます。

本審議会は藤井寺市生涯学習審議会条例第1条の規定により設置され、同条例第3条第2号の規定により、教育関係者、地域、団体の関係者、学識経験者によって組織されております。そして、同条例第2条の所掌事項を掌理していただく附属機関でございます。よろしくお願い致します。

また、本審議会につきましては、「藤井寺市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、会議並びに議事録を公開することとしております。本日の傍聴希望者数は0人です。また、議事録の作成に向け、ICレコーダーでの録音を実施させていただきます。また、議事録につきましては発言者の名前を記載し要点筆記とさせていただきます。録音された音声等は議事録作成後、すみやかに消去いたしますので、なにとぞよろしくご理解ご了承くださいますようお願いいたします。

それでははじめに、見浪教育長より一言ご挨拶をお願いいたします。

○教育長

皆様こんにちは。生涯学習審議会の開会にあたりまして一言ご挨拶させていただきます。

本日は雨の中、またご多用の中、ご出席いただきましてありがとうございます。また日頃より本市の生涯学習教育の推進にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日の会場であるアイセルシュラホールは、昨年の4月から「にぎわい・まなび交流館」としてリニューアルし、1・2階が観光拠点となりました。

特に2階については文化財保護課から、(株)海洋堂様に依頼し、古墳ジオラマを作成していただいたり、「ふじいでら再発見コーナー」として、藤井寺市の近現代の懐かしい風景写真を展示したりと、藤井寺市民の方に昔を懐かしんでいただける展示をさせていただいたところです。

また3・4階は従来通り生涯学習センターとして運用し、自主活動の場として多様な世代にわたる学習の場を提供するとともに、公開講座を実施するなど、生涯学習の支援を行っているところでございます。

本日は令和7年度の生涯学習センター公民館事業の実施状況や、図書館実施状況につきましてご報告をさせていただきたいと思っております。また、来年度に第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画の策定を予定しております。本日この審議会にてお諮りさせていただいて、今後ご議論をお願いできればと思っております。

結びとなりますが、まだまだ寒い日が続いております。皆様の今後の益々のご健勝をお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

○司会

次に昨年7月に委嘱をさせていただきました委員の皆さま、および、教育委員会並びに事務局として出席しております職員をご紹介します。

(委員の紹介および教育委員会並びに事務局の出席者の紹介)

続きまして、資料のご確認をお願いいたします。

(配布資料の確認)

それでは、これからの議事進行につきましては清水会長にお願いしたいと思います。

清水会長よろしくをお願いいたします。

○会長

それでは進行を代わらせていただきます。

では、案件1令和7年度生涯学習センター・公民館の事業報告をお願いします。

○生涯学習課長

(資料1「令和7年度生涯学習センター・公民館事業報告について」にそって説明)

○会長

ありがとうございました。案件1と2のご質問等は合わせて行いたいと思っております。したがって、続けて図書館より案件の説明をお願いします。

○図書館長

(資料2「令和7年度市立図書館事業」にそって説明)

○会長

それでは、ただいま説明がございました、生涯学習課および図書館の取り組み状況につきまして、委員の皆様から質問やご意見等はないでしょうか。

○ 上田委員

生涯学習課にお聞きします。

実行委員会方式の「二十歳の集い」につきまして、従来、各区長さんや地区の皆様にも出席依頼をし、参加されていましたが、今年度はどういう状況で地域の方の参加がなかったのでしょうか。

○生涯学習課

ただ今ご質問いただいた件につきましてご説明させていただきます。

過去に区長の皆様や保護者の皆さまにもご出席いただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった時期から来賓の方の人数を絞らせていただきました。保護者の方の出席ができない代わりに、ライブ式の配信という形で対応をさせていただきます。

した。失礼ながら、人数を絞らせていただいているという状況が、現在も継続しております。

○上田委員

コロナ禍で止めたということですが、それでも保護者の方で会場に来たい人もいます。それを来てはいけないというのは何故なのかを、今年は強く感じました。地区の皆様からお祝いをしてもらおうという本来の趣旨が、知らない間に自分たちだけでやってしまう、と感じられました。

その辺りを精査して、説明をできるようにしていただきたいと思います。

○生涯学習課

貴重な意見として承らせていただきます。ありがとうございます。

○会長

他に何かご質問等はありませんか。なければ次の案件3につきまして、生涯学習課から説明をお願いします。

○生涯学習課長

(資料3「令和8年度の生涯学習センターの運用について」にそって説明)

○会長

ありがとうございました。ただいま説明の件につきまして、皆様から何かご質問やご意見等はございますか。

○高橋委員

研修室を使うことは問題ないと思いますが、今まで行ってきたサークルや団体の活動の回数が減るであるとか、代替の部屋が用意されるといったことはありますか。

○生涯学習課長

稼働率を考慮して、一番影響の少ない研修室を利用することで対応できるということで決定をしております。以上でございます。

○会長

他に何かご質問等ございますでしょうか。

○西村委員

藤井寺南小学校からシュラホールまで、子どもたちが移動してくる時の安全確保はどうなっているのでしょうか。

○生涯学習課長

ご説明いたします。子どもの安全面については最優先で考えております。

藤井寺南小学校の校門とシュラホールは近いと言いましても、距離が若干ございます。保護者の方々には十分に説明をさせていただいた上で、導線つきましても、安全確保を指導員にも徹底していく、という形で進めさせていただいております。以上でございます。

○後藤委員

藤井寺南小学校校長の後藤です。

児童数が増え、学級数も増えているということで、どうしても学校内では教室数が足りず、生涯学習センターにお願いという形になっております。いろいろな面でご迷惑をおかけすると思いますが、協力しながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

それでは次に案件4につきまして図書館より説明をお願いいたします。

○図書館長

(見浪教育長から清水会長へ諮問書の受け渡し)

(資料4「第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画策定スケジュール(案)」にそって説明)

○会長

ただいま諮問のありました第三次藤井寺市子ども読書活動推進計画の策定について、図書館からのご説明のあったスケジュールに従って図書館部会を中心に答申案をまとめ、11月に本審議会としての答申を行うこととしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

ご意見がありましたらよろしくお問い合わせいたします。

○上田委員

昨今のデジタル化についてですが、電車の中では新聞等の文字を読んでいる人はおらず、ほとんどの方がスマホを見ているという状況です。デジタル化が進む中で、読書推進計画の中ではどういった取り組みを行う予定でしょうか。

○図書館長

スマホやYouTube、SNS等のデジタル化が進む中で、子どもたちも塾等に通い、勉強に対して非常に熱心に取り組んでいると思います。昔に比べ本を読む機会がなかなかない中で、それでも読んでいただきたい、読書活動を推進していきたいという思いはございますので、子どもたちに読書の機会を作れるように、計画の中でも触れて行きたいと思っております。

○細木委員

私は「藤井寺市ボランティアサークルおはなしころりん」というボランティアサークルに所属しており、保育所・幼稚園・小学校に毎月行っています。

子どもは絵本が好きで、お話も大好きです。1時間ほどお話をするので、中にはお話を聞いていないような子もいますが、耳だけはこっちを向いていると感じますし、お話の内容も覚えている。最後には「しっかりと本を読もうね。」という声かけもさせてもらっている。

子どもたちに良い絵本を届けるという活動をすることによって、子どもたちの心が豊かになることを願っています。脳の発達にも影響するので、ゲームの時間も決めてもらって、親御さんも学校も協力しながらやっていってほしいです。

○仲井委員

先ほどの上田委員からの話を聞いて少し確認ですけれども、藤井寺市としては、紙媒体の読書にこだわるということによいのでしょうか。

○図書館長

年齢によって本へのふれあいの仕方というのは変わってくるかと思われま。乳幼児のお子さんであれば、やはり本の手触り、重さ、ページをめくる楽しみといったところもあるかと思ひますし、紙媒体というのはやはりとても素晴らしいことだと思ひます。けれども今の社会情勢の中で、紙にだけこだわって本を読んで欲しいというのは、なかなか難しいことであると思ひております。

○仲井委員

ありがとうございます。おっしゃる通り紙の良さというのはあると思ひていますが、先ほど上田委員がおっしゃったように、デジタル化の波には抗えないところもあるかと思ひますので、デジタルデバイスを使った配信であるとか、そういったところを両輪で考えていく必要があるのではないかと思ひます。

○西村委員

藤井寺中学校校長の西村でございます。

子どもたちの本離れやゲームばかりしているという問題は、ご家庭との協力で解決していかなければならないと思ひています。脳の前頭前野という部分を鍛えていかないと、理解であったり、ものを覚えたり、自分をコントロールする力が失われていくと言われていま。デジタルを否定はしませんが、アナログとデジタルの両方ができるのなら、紙の方が良い。家庭内でも携帯電話を触らない約束を親子でして見て、できなければ、なぜできなかったのかということも話し合う。そういった中で親と子の愛着関係が結ばれてくることもあるといひます。

この読書推進というものは、ご家庭だけとか、学校だけとか、図書館だけではなかなか解決は難しい問題で、学校も協力していきたいと思ひています。

○堀内委員

私は学校関係者ではないですが、子どもは本好きで、読んであげるとウロウロしている内容も聞いています。子どもは聞いていると思うので、親も読んであげたら良いと思います。本を読むことは素晴らしいことだと思いますので、これからも広げていっていただけたら良いと思います。

○会長

他に何かございますでしょうか。

非常に難しい問題だと思います。デジタルは非常に便利で、チャットGPTもすぐに的確な解答が見つかりますが、それをサブのものという認識で使えるかどうか、デジタルであるのかなと思います。難しい問題を図書館の皆様は取り扱っている状況だと思います。デジタル化は進んでいきますけれども、こうやって皆様と顔を合わせてお話するのと同じように、子どもたちにもなるべく声をかけてあげて、その中に本が一つの題材としてあれば、社会だったり、地域だったり温かい世界になるのかなと思います。図書館の皆様には頑張ってくださいなと思います。

以上で全ての案件が終了いたしました。委員の皆様には、ご協力いただきありがとうございました。

○生涯学習課

会長、議事の進行をどうもありがとうございました。これもちまして、令和7年藤井寺市生涯学習審議会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

気をつけてお帰りください。

上会議録は、事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

藤井寺市生涯学習審議会 会長

藤井 邦人

